

情報モラル教育

さいたま市立城南小学校

主題「情報を正しく入手し、著作権に配慮して記事を書こう」

1. ねらい

- ・インターネットの利便性について考え、情報を正しく入手しようとする態度を養う。
- ・インターネット上にある情報で、自分に必要な情報が手に入れられるようになる。
- ・著作権に配慮し、様々なサイトの文章や写真等を有効に活用できる。

2. 指導計画

- (1) インターネット上にある情報を検索するための、検索ワードについて学ぶ。
- (2) インターネットや百科事典、図鑑等から、自分に必要な情報が何かを判断し、情報を取捨選択できるようにする。
- (3) インターネット上から得た情報を、著作権に配慮しながら自分の作品に引用したり参考にしたたりする。

3. 授業実践例

(1) 本時のねらい

- ・たくさん集めた情報の中から必要な情報だけを選び、著作権に配慮して作品に引用できるようにしよう。

(2) 展開

段階	学 習 活 動 ・学 習 内 容	・教 師 の 支 援	☆評 価
導入	1. 前時までに集めた情報や資料を確認する。 ○インターネットから取得した情報。 ○百科事典や図鑑から取得した情報。	・今までに集めた情報がたくさんあることを確認する。	
展開	2. 本時のめあてを知り、学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">たくさん集めた情報の中から必要な情報を選び、ちょさくけんに気をつけて作品に引用しよう。</div> ○めあての確認 3. 必要な情報だけを選択する。 ○自分に必要な情報の選択 4. 著作権に配慮した情報の引用の仕方を学ぶ。 ○著作権への配慮 ○引用の仕方 5. 著作権に配慮して、作品を引用して記事を書く。 ○引用をしながらの記述	・著作権という用語について解説する。 ・重要語句について説明がある箇所や、「問い」に対する「答え」がかかっている部分が必要であることを伝える。 ・自力での解決が困難な場合には、ページごとに特に必要そうなページを考えさせる。 ・著作物から引用する場合、満たさなければならない要件について知らせる。 ・「例」を参考にして、引用の仕方について知らせる。 ・著作権保護の要件を満たしていない場合は、どの要件が足りないかを伝え、要件を満たせるように支援する。	☆著作権に配慮して引用ができていますか。
終末	6. 本時のまとめとふりかえりをする。 ○著作権に配慮した引用の仕方の確認	・著作権に配慮した引用の仕方について確認し、これからの学習に生かせるように声かけをする。	

4. 成果と今後の課題

著作権とはどういうものなのかについて、しっかりと学習することができた。しかし、著作権保護の要件のひとつ「質的にも量的にも、引用先が「主」、引用部分が「従」という関係にあること」に関しては、理解はできたものの、実際に記事にする際にはこの関係が逆転してしまっている児童が多かった。今後も、著作権についての指導を継続していかなければならない。